

分水町史 通史編 目次

自然編

第一章 自然の環境とおいたち

第一節 季節の移り変わり

- 一、気温
- 二、降水量
- 三、湿度
- 四、風
- 五、積雪の変動

第二節 大地の環境

第三節 大地のおいたちと人の生活

- 一、古日本海の誕生と拡大
- 二、古日本海の変動と本州脊梁の隆起
- 三、越後平野の成立

第四節 自然災害と大地の運動

- 一、平成十六年七月の豪雨
- 二、新潟県中越地震の被害
- 三、山の隆起と平野の沈降問題

第二章 分水町の植物

第一節 森林のつくり

- 一、落葉広葉樹林
- 二、アカマツ林
- 三、スギ林

第二節 四季の花々

- 一、春の花々
- 二、夏の花々
- 三、秋の花々
- 四、冬の草木

第三節 種の広がり

- 一、暖温帯の植物
- 二、日本海要素の植物
- 三、分布上注目すべき植物

第四節 絶滅危惧種

- 一、国内の絶滅危惧種
- 二、県内の絶滅危惧種

第五節 天然記念物

第三章 分水町の動物

はじめに

第一節 哺乳類

第二節 野鳥

第三節 両生類

第四節 爬虫類

第五節 魚類

第六節 昆虫類

一、ガ類

二、チョウ類

三、トンボ類

四、直翅類

第七節 ツツガムシとつつがむし病

原始・古代編

第一章 旧石器時代の分水町

第一節 有馬崎の狩人たち

一、猿人から有馬崎人へ

二、有馬崎をとりまく環境

第二節 狩人たちの知恵

一、石の道具（石器）

二、狩人たちの暮らし

三、有馬崎人

第二章 縄文時代の分水町

第一節 縄文時代の分水町

一、分水町の縄文遺跡

二、分水町の縄文時代

三、分水町周辺の縄文遺跡

第二節 分水町の縄文時代の遺跡

一、有馬崎遺跡と幕島遺跡

二、分水町にみる遺跡間の交流

三、幕島遺跡の暮らし

四、宝崎遺跡の首飾

第三節 幕島遺跡にみる哺乳類資源の利用

第三章 弥生時代と古墳時代の分水町

第一節 弥生時代の分水町

- 一、竹ヶ花遺跡の弥生土器
- 二、分水町周辺の弥生時代の遺跡
- 三、弥生時代の墓制
- 第二節 古墳時代の分水町
 - 一、夕暮れの岡野提瓶と子持勾玉
 - 二、分水町周辺の古墳
 - 三、上町遺跡からのメッセージ
 - 四、五千石遺跡の発見
- 第四章 奈良・平安時代の分水町
 - 第一節 律令時代の分水町
 - 一、大化前代の分水町
 - 二、越後国の成立と分水町
 - 三、郡・郷・里と古代の村々
 - 第二節 渡戸駅・古代国上町と律令社会の変化
 - 一、渡戸駅と古代国上寺
 - 二、古代社会のゆくえ
- 引用・参考文献

中世編

- 第一章 中世の舞台
 - 第一節 国上・弥生と水の世界
 - 第二節 荘園と公領
 - 第三節 国上寺と弥彦神社
- 第二章 鎌倉時代の分水町周辺
 - 第一節 治承・寿永の内乱と鎌倉幕府の成立
 - 第二節 分水町周辺の地頭・御家人
- 第三章 南北朝・室町時代の分水町周辺
 - 第一節 南北朝内乱期の分水町周辺
 - 第二節 守護勢力の展開と分水町周辺
 - 第三節 応永の大乱と分水町周辺
- 第四章 戦国時代
 - 第一節 長尾為景期の分水町周辺
 - 第二節 上杉謙信期の分水町周辺
 - 第三節 上杉景勝期の分水町周辺
- 第五章 中世の城と館
 - 一、中世城館の発展
 - 二、分水町の山城と館

近世編

第一章 幕藩領主の支配と社会

第一節 近世初期の藩政と社会

- 一、春日山藩堀氏の支配
- 二、松平忠輝福島・高田藩の支配

第二節 三条藩から幕府直轄支配へ

- 一、三条藩の支配
- 二、幕府出雲崎代官の支配

第三節 村上藩と四万石領

- 一、村上藩の支配
- 二、村落支配の確立

第二章 近世中・後期の領主と支配

第一節 四万石騒動と分水地方

第二節 内藤氏村上藩政の展開

- 一、間部・内藤氏の村上藩政
- 二、地蔵堂組の村々

第三節 白河・高崎藩領の村々

- 一、高田・白河藩と渡部・横田組
- 二、熊森・笈ヶ島と領主変遷

第三章 近世の村

第一節 新田開発と村の成立

- 一、近世前期の開発と山野論
- 二、農業と水利慣行

第二節 村の自治と割地制度

- 一、村の自治
- 二、割地慣行と質地
- 三、村内の争い

第三節 災害と暮らし

- 一、災害と救済
- 二、村人の暮らし

第四章 地蔵堂町の発展と交通

第一節 地蔵堂町の形成と発展

- 一、地蔵堂町の発展
- 二、村上領地蔵堂町と白河領野中才村の町場争い

第二節 商業と交通

第五章 大河津分水計画と周辺町村の動き

第一節 宝暦～文化年間の大河津分水計画

第二節 天保以降の大河津分水掘割願い

第六章 学芸と宗教

第一節 庶民文化の発展

一、国上寺の万元と五合庵

二、大森子陽と三峰館

三、良寛

四、教育の普及

五、学芸の展開

第二節 宗教

一、寺院

二、神社信仰

第七章 幕末の領主支配と民衆

第一節 村上藩財政の窮乏と藩政改革

第二節 幕末の政情と社会変革のうねり

近現代編

第一章 近代への出発と進展

第一節 明治新政下の町と村

一、北越戊辰戦争の波及

二、行政制度の整備

三、地租改正と地主制

四、町村行政の概況

五、国政・県政への参加

第二節 第一次大河津分水工事

一、分水工事の起工

二、騒動の発生

三、工事の進展と「廃業命令」

第三節 産業経済の新しい動き

一、川港と舟運

二、明治前期の地藏堂町

三、地藏堂銀行の設立

四、村の生活と物産

第四節 明治前期の教育と文化

一、近代教育の胎動

二、学制発布と小学校創設

三、神社・寺院と「神仏分離」

四、良寛顕彰・研究へのみち

第二章 町村制の施行と経済、文化

第一節 地蔵堂町制と周辺村制

- 一、地蔵堂町と国上・島上・大河津三村の誕生
- 二、財政面からみた町村行政
- 三、町村議会と区政
- 四、明治後期の県議会議員
- 五、日清・日露戦争と地域

第二節 「横田切れ」と分水工事の再興

- 一、「横田切れ」
- 二、頻発する水害と対応
- 三、第二次分水工事の着工
- 四、村落移転と新村建設

第三節 地蔵堂町の発展と大火

- 一、川港・舟運と物産
- 二、地蔵堂銀行と地蔵堂米穀取引所（米社）
- 三、街並みの拡大―地割
- 四、大火の発生～役場火災

第四節 農業と水利組合の設立

- 一、西川制水閘門の設置
- 二、明治後期の農業

第五節 明治後期の教育と文化

- 一、高等小学校の創設
- 二、明治後期の小学校教育
- 三、願王閣の祭りと屋台引き

第三章 大正から昭和へ

第一節 大河津分水工事の進展と完成

- 一、第二次工事の進展
- 二、設置された工場と土砂の処分
- 三、働いた人々
- 四、勤労の記録
- 五、自在堰陥没と応急工事
- 六、信濃川補修工事

第二節 越後線開通と地域経済

- 一、越後線の開通と国有化
- 二、大正元年地蔵堂の大火

三、地蔵堂町の発展と「分水景気」

第三節 町村政の推移

- 一、地蔵堂町歴代町長と町会
- 二、名誉村長と農民組合の結成
- 三、村政を支えていた区政
- 四、消防組の設置と軍国体制
- 五、県会議員の選挙

第四節 大正期の農業と分水附帯工事

- 一、大正期の農業
- 二、分水附帯工事と用排水路の整備
- 三、源八新田の客土と円上寺潟の埋立て
- 四、水利組合の変容
- 五、検査米制度・耕地整理の進展と各種組合

第五節 大正新教育と文化

- 一、地蔵堂小学校の火災と笈砂小学校創設
- 二、「新教育」の波及<童話と作文>
- 三、良寛顕彰と五合庵の再建
- 四、分水公園と記念碑の建設

第四章 戦争へのみち

第一節 軍国体制と町村制

- 一、昭和前期の地蔵堂町政
- 二、島上村の行財政
- 三、国上村政と学区
- 四、戦時行政の進展

第二節 農村恐慌化の産業・経済

- 一、経済更生運動の推進と統制下の農業
- 二、横田の開田とつつが虫病
- 三、救農土木事業と樋曾山隧道
- 四、地蔵堂町の商工業

第三節 良寛研究の推移と分水路の桜

- 一、軍国体制下の良寛研究
- 二、桜植樹とおいらん道中誕生

第四節 戦時教育の進展

- 一、軍国主義の教育
- 二、国民学校と勤労働員
- 三、児童の集団疎開

四、青年団と婦人会、青年学校の開設

第五節 戦時体制下の生活

一、昭和十一年の大火—昭和座の火事

二、戦争への動員と戦死者の増大

三、戦時生活の諸相

第五章 戦後の民主改革と経済復興

第一節 町村政の民主化と町村勢

一、町村長公選と町村議選

二、戦後の町村政の進展

三、昭和二十年代の町村財政

四、統計でみる町村勢

第二節 農業と工業の復興

一、農地改革の着手

二、供出問題と食糧増産

三、復興期の工業

第三節 六・三制と新制中学校創設

一、六・三制と小学校

二、組合立地藏堂郷中学校の誕生

三、新教育の進展と PTA

四、教育委員会の発足と公民館

第四節 文化活動の復活

一、良寛研究の再出発

二、青年団と婦人会

三、生活の変化と祭りの復活

四、分水公園、桜とおいらん道中

第六章 分水町の成立と発展

第一節 町村合併と分水町の誕生

一、戦後合併の始動と進展

二、合併協議会の設置と合併協定書

三、「付帯決議」と残された課題

第二節 分水町政の発足と災害の頻発

一、町長、町議選挙と役場機構

二、国上地区分町問題への対応

三、大河津村の一部編入問題への対応

四、大火と自然災害の発生

五、新町建設と町政の推移

第三節 分水町政の進展—昭和から平成へ

- 一、町長・町議選と役場機構
- 二、平成期の町行政
- 三、総合計画にみる町の将来像

第四節 高度成長と産業・経済

- 一、産業構造の変化
- 二、町並みの拡大
- 三、農業の発展と推移

第五節 生活・文化の変革と学校教育の進展

- 一、生活革命の進展
- 二、小学校・中学校の統合
- 三、公民館と文化・スポーツ活動
- 四、国上山周辺の整備事業
- 五、分水町良寛史料館と良寛顕彰

終章 新生燕市創設へのみち

- 一、「平成合併」の胎動と挫折
- 二、燕・吉田・分水三市町合併の進展
- 三、新生「燕市」への期待